

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)

【公開番号】特開 2014-211861 (P2014-211861A)
 【公開日】平成 26 年 11 月 13 日 (2014.11.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-062
 【出願番号】特願 2014-14760 (P2014-14760)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)
 G 0 6 F 3/0488 (2013.01)
 G 0 6 F 3/0354 (2013.01)
 G 0 6 F 3/041 (2006.01)
 G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048 6 5 6 A
 G 0 6 F 3/048 6 2 0
 G 0 6 F 3/033 4 5 3
 G 0 6 F 3/041 3 1 0
 G 0 6 F 3/048 6 5 8 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 8 日 (2015.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の階層に分かれた画像 (60) を切替え可能に表示する表示部 (52) に対して別体で形成されており、操作面 (32) に対する使用者の指操作によって、前記画像 (60) を操作するための入力が行われる入力装置であって、

前記指操作時の前記操作面 (32) に対する指の操作状態を検出する検出手段 (31) と、

前記検出手段 (31) によって検出された前記操作状態に対する判定が、前記操作面 (32) に接触する接触状態に対して、前記操作面 (32) に近接した近接状態にあると、前記表示部 (52) に表示される前記画像 (60) の少なくとも一部 (62、64) の鮮明度を、前記接触状態のときよりも低下させる制御部 (33) とを備え、

前記画像 (60) には、前記複数の階層のうち所定階層における前記画像 (60) の種類を示すメニュー項目 (61) が表示されるようになっており、

前記制御部 (33) は、前記画像 (60) の少なくとも一部 (62、64) の鮮明度を低下させる際に、前記メニュー項目 (61) については、前記接触状態のときの鮮明度を維持することを特徴とする入力装置。

【請求項 2】

複数の階層に分かれた画像 (60) を切替え可能に表示する表示部 (52) に対して別体で形成されており、操作面 (32) に対する使用者の指操作によって、前記画像 (60) を操作するための入力が行われる入力装置であって、

前記指操作時の前記操作面 (32) に対する指の操作状態を検出する検出手段 (31) と、

前記検出手段(31)によって検出された前記操作状態に対する判定が、前記操作面(32)に接触する接触状態に対して、前記操作面(32)に近接した近接状態にあると、前記表示部(52)に表示される前記画像(60)の少なくとも一部(62、64)の鮮明度を、前記接触状態のときよりも低下させる制御部(33)とを備え、

前記画像(60)には、前記複数の階層のうち所定階層における前記画像(60)の種類を示すメニュー項目(61)が表示されるようになっており、

前記制御部(33)は、前記画像(60)の少なくとも一部(62、64)の鮮明度を低下させる際に、前記メニュー項目(61)のうち、前記使用者によって選択された項目のみについて、前記接触状態のときの鮮明度を維持することを特徴とする入力装置。

【請求項3】

前記制御部(33)は、前記近接状態において前記操作面(32)から前記指が遠ざかるほど、前記画像(60)の鮮明度をより大きく低下させることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の入力装置。

【請求項4】

前記鮮明度が低下される少なくとも一部の画像(62、64)は、前記画像(60)を操作するためのアイコン(62)、あるいは前記指操作時の指の位置を示すポインタ(64)であることを特徴とする請求項1～請求項3のいずれか1つに記載の入力装置。

【請求項5】

前記制御部(33)は、前記検出手段(31)によって検出された前記操作状態に対する判定が、前記操作面(32)に対して前記近接状態よりも遠ざかる非接触状態にあると、前記表示部(52)に表示される前記画像(60)の鮮明度を前記接触状態のときの鮮明度に維持することを特徴とする請求項1～請求項4のいずれか1つに記載の入力装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第1の発明では、複数の階層に分かれた画像(60)を切替え可能に表示する表示部(52)に対して別体で形成されており、操作面(32)に対する使用者の指操作によって、画像(60)を操作するための入力が行われる入力装置であって、

指操作時の操作面(32)に対する指の操作状態を検出する検出手段(31、33)と

検出手段(31、33)によって検出された操作状態に対する判定が、操作面(32)に接触する接触状態に対して、操作面(32)に近接した近接状態にあると、表示部(52)に表示される画像(60)の少なくとも一部(62、64)の鮮明度を、接触状態のときよりも低下させる制御部(33)とを備え、

画像(60)には、複数の階層のうち所定階層における画像(60)の種類を示すメニュー項目(61)が表示されるようになっており、

制御部(33)は、画像(60)の少なくとも一部(62、64)の鮮明度を低下させる際に、メニュー項目(61)については、接触状態のときの鮮明度を維持することを特徴としている。

また、第2の発明では、複数の階層に分かれた画像(60)を切替え可能に表示する表示部(52)に対して別体で形成されており、操作面(32)に対する使用者の指操作によって、画像(60)を操作するための入力が行われる入力装置であって、

指操作時の操作面(32)に対する指の操作状態を検出する検出手段(31、33)と

検出手段(31、33)によって検出された操作状態に対する判定が、操作面(32)に接触する接触状態に対して、操作面(32)に近接した近接状態にあると、表示部(52)に表示される画像(60)の少なくとも一部(62、64)の鮮明度を、接触状態の

ときよりも低下させる制御部(33)とを備え、

画像(60)には、複数の階層のうち所定階層における画像(60)の種類を示すメニュー項目(61)が表示されるようになっており、

制御部(33)は、画像(60)の少なくとも一部(62、64)の鮮明度を低下させる際に、メニュー項目(61)のうち、使用者によって選択された項目のみについて、接触状態のときの鮮明度を維持することを特徴としている。